

平成 27 年度事業報告書

第 3 期 平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日まで

法人の名称 特定非営利活動法人フェアスタートサポート

1 事業の成果

パソコン教室では 4 月からプログラミングコースが追加され能力育成の領域を広げた。また、7 月からは定款変更に伴い定時制、通信制高校等への支援も始め、横浜市内の高校でキャリア教育講座を実施し、卒業生の就職相談の依頼も受けるようになった。会社見学事業では、個別コーディネートに加え各企業が見学日時を定めて見学者を募集する見学会も新たに始め、施設や高校が企業と直接つながる仕組みの構築も着手することができた。

また、新聞やテレビ等の各メディアにも多く露出し、課題や活動の発信を進めることができた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 児童養護施設、自立援助ホーム入所児童を中心とする、社会的養護の下で生活をする児童等へのキャリア教育事業

ア パソコン教室

- ・内 容 児童養護施設で行うパソコン教室。
日本ヒューレット・パカード株式会社の協力でプログラミングコースを追加して開催。
- ・日 時 月に 2 回
- ・場 所 児童養護施設 聖母愛児園
- ・受益対象者 入所児童 20 人
- ・従事者人員 14 人
- ・支出額 105,130 円

イ 料理教室

- ・内 容 児童養護施設で行う料理教室。プロの料理人を講師に招き、食に関する仕事を目指す児童を集め料理教室を行う。
- ・日 時 2/21、4/18、6/27、7/25
- ・場 所 児童養護施設 聖母愛児園
- ・受益対象者 入所児童
- ・実績人数 5 人
- ・従事者人員 4 人
- ・支出額 20,000 円

ウ 通い型教室 (プログラミング)

- ・内 容 児童養護施設をはじめとする社会的養護の施設に入所する児童等を対象とした、通い型の教室。協力企業と連携してプログラミングの基礎を学ぶ教室を開催。
- ・日 時 8/22
- ・場 所 東西株式会社会議室 (東京都大田区)

- ・受益対象者 社会的養護等のもとで暮らす児童
- ・実績人数 7人
- ・従事者人員 5人
- ・支出額 50,000円

エ 社会的養護のもとで暮らす若者等の就職相談

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす若者や定時制高校等に通う若者の就職の相談にのり、就労体験や会社見学など必要なステップへとつなげ、ミスマッチのない就職を目指す。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 団体事務所、施設、高校等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 社会的養護のもとで暮らす若者、定時制高校等の若者
- ・実績人数 30人
- ・支出額 1,900,005円

オ 会社見学、就労体験

- ・内 容 会社見学や就労体験を受け入れてくれる企業情報を提供し、コーディネートする。実際に就職する前に興味がある職種を体験する事で、就職後のミスマッチによる早期離職を防ぐ。
- ・日 時 通年 依頼に応じて随時
企業と高校生の交流会は8/7、8/10
- ・場 所 各受け入れ先企業、市民センター等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 社会的養護のもとで暮らす若者、定時制高校等の若者
- ・実績人数 会社見学22人、就労体験11人
- ・支出額 550,000円

カ 情報誌「エール」の発行

- ・内 容 社会的養護等で育った後に社会人として自立した20代の若者、3～40代の方のインタビュー等を集めた冊子「エール」を創刊し全国の児童養護施設等に無料送付を行う。
- ・日 時 3月
- ・場 所 全国の児童養護施設、自立援助ホーム等へ郵送
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 全国の社会的養護のもとで暮らす児童等
- ・支出額 509,000円

キ 支援者向け就職情報連続勉強会

- ・内 容 児童養護施設等の児童福祉施設職員、里親、教員、支援員等を主な対象とした勉強会を開催する。児童へのキャリア教育の一環として児童に接する支援員への情報提供を行う。

近年の就職動向や児童の特性に合わせた就職支援の方法について等
各会専門家を講師に招いて開催する。支援員、教員だけでなく対象児
童、一般の方も参加できる勉強会として開放している。

- ・日 時 3月、5月、7月
- ・場 所 横浜市市民活動支援センター、協力企業オフィス、YMCA等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 関東圏の児童福祉施設の職員や入所中児童、里親、支援員、一般の方
- ・支出額 35,000円

ク 定時制高校でのキャリアセミナー

- ・内 容 定時制高校にて企業経営者3名と生徒との交流会を開催した。
- ・日 時 7月11日
- ・場 所 神奈川工業高校
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 神奈川工業高校生徒 約50人
- ・支出額 55,000円

② 児童養護施設、自立援助ホーム退所者等の社会的養護の下を巣立った若者等の就職後の
アフターフォロー事業

- ・内 容 若者と、様々な職種の社会人、学生ボランティア等による交流イベン
トを行い、また個別相談の機会を設ける事で、就職したての若者の就
労が持続する為のサポートを行う。
- ・日 時 交流イベント：1月、5月、7月、8月
個別相談：随時
- ・場 所 神奈川県、東京都内の各地
- ・受益対象者 社会的養護等の下で育った若手社会人、その他一般人 約40人
- ・従事者人員 8人
- ・支出額 30,000円